

## 校長室から 保護者版 文責 校長 堀富雄

## 2021年9月21日、体育祭(新中五輪)を行いました

「駆け上がれ、新中五輪の頂へ」のスローガンの下、好天に恵まれ、第73回体育祭が行われました。全校生が執行部に協力し、良い体育祭にしようと練習に取り組みました。

前田祥吾副会長の入魂の選手宣誓、吉田珠由保体委員長指揮の躍動感溢れるラジオ体操、バラエティー豊かな全校演技、白熱し盛り上がった学年演技など、全校生が生き生きとした表情で素晴らしい時間を過ごすことができました。執行部の皆さん、本当にご苦労様でした。記憶に残る体育祭となりました。開会式、閉会式での挨拶を掲載します。

## 開会式 生徒会長挨拶

宗重晴喜

みなさん、今日はいよいよ体育祭です。今年の体育祭は昨年につき、新型コロナウイルスによる影響で、午前中開催であることに加え、緊急事態宣言の延長によって保護者の方々に来ていただけなかったりと例年とは異なる形となっています。しかし、まずはこの緊急事態宣言が発令されている中で開催できていることに感謝し、今日の体育祭を全員でより良いものとしましょう。

さて、今年の体育祭は、いつもより規模が縮小される形での開催となっています。しかし、そのような中でこそ、3年生にとっては中学校生活最後の体育祭を、2年生にとっては初めての先輩という立場での体育祭を、1年生は中学生になって初めての体育祭を、絶対に成功させてやるんだという気持ちで臨み、今日までの練習の成果を思いっきり発揮し、思い出に残る最高の体育祭にしましょう。

最後に、今日の体育祭のため、事前の準備を支えて下さった先生方、ありがとうございました。また、いつも支えてくれる保護者の方々に感謝し、今日の体育祭を、悔いの残らない様 精一杯がんばりましょう。

## 閉会式 生徒副会長挨拶

吉良山小春

みなさん、今日はお疲れさまでした。私たちは今日の体育祭に向けてクラス、学年を超えて一緒に練習してきました。延期もありましたが、今日、体育祭ができて本当に良かったです。

今年の体育祭のスローガンは、『駆け上がれ、新中五輪の頂へ』でした。最後まで、頂を目指して駆け上がろうという気持ちで頑張れましたか。楽しかったこと、勝って嬉しかったこともあると思います。一方で悔しい思いをした人もいるかもしれません。でも、それは私たちが精一杯頑張ったから生まれたものだと思います。

東京五輪では世界中の選手が私たちにたくさんの勇気や感動を届けてくれました。東京五輪も新宮五輪である体育祭も無観客だったので、私たちは今日、頑張っている姿を見てもらうことができませんでした。でも私たちは普段、頑張る姿や活躍する姿で家族や地域の方々に勇気や元気を届けることができると思います。

新中五輪という言葉には、新宮、越部、東栗栖、西栗栖、香島、五つの地区の団結という意味も込められていました。

体育祭を通して培ったチームワークと絆を忘れず、これからも新宮に勇気や元気を届けられるよう 新中みんなで一つになってがんばっていきましょう。

